

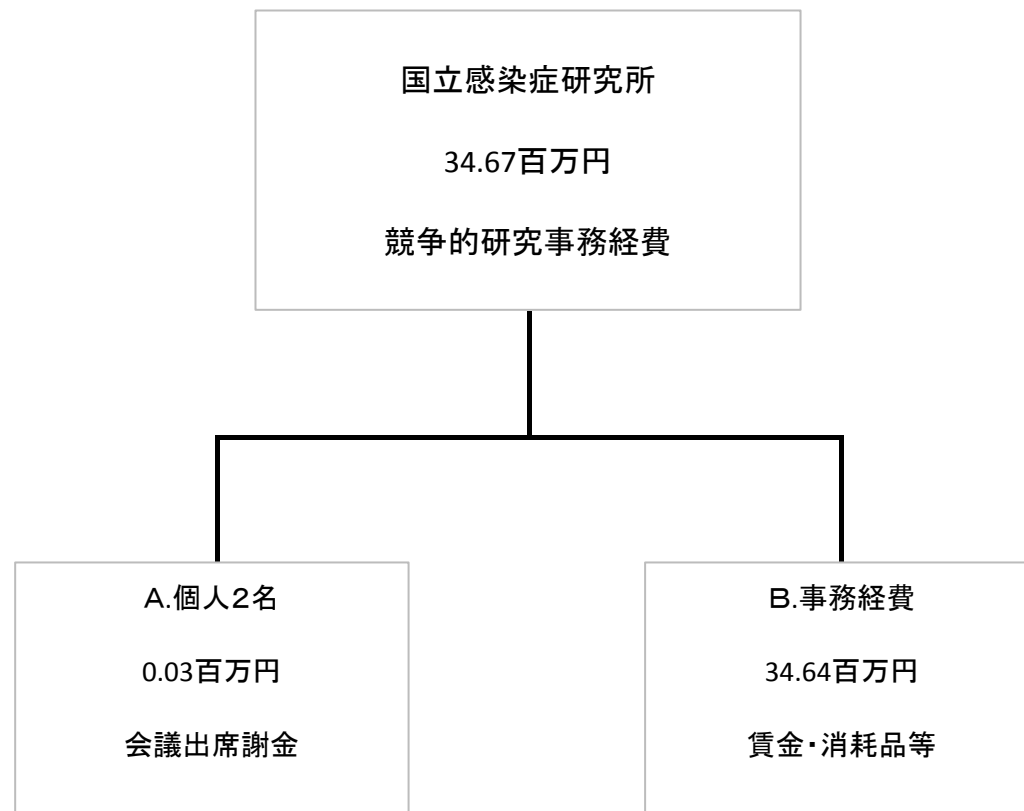
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	競争的研究事務経費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度	担当課室	総務部会計課	金山 和弘				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	競争的研究資金に係る経理について機関経理を行うとともに、補助員に係る機関雇用							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1研究あたりの研究費の増大に伴う研究者個人による研究費管理の増大から、競争的研究資金に係る経理について機関経理を行うとともに、補助員に係る機関雇用を行う。また公的研究である厚生労働科学研究の公正性、信頼性を確保するため、利害関係が想定される企業等との関わり(利益相反)についてその管理に必要となる利益相反委員会を運営する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	45	35	35	29	41	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	45	35	35	29	41	
		執行額	100	100	100			
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	補助金等の機関経理を行うため経費であり、定量的な指標は示せない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	補助金等の事務取扱件数		活動実績 (当初見込み)	件	79	71	66	-
					131	(117)	(66)	(66)
単位当たりコスト	530,303 (円/ 補助金の事務取扱件数)		算出根拠	①執行額35百万円 ②平成24年度補助金の事務取扱件数66件 執行額÷取扱件数=633,802円				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0	0	賃金の積算見直しによる増				
	委員等旅費	0	0					
	消耗品費	0	1					
	会議費	0	0					
	通信運搬費	0	0					
	賃金	29	40					
	計	29	41					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	少額の契約であっても複数社から見積を徴収し、最低価格で購入するなど、コスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業費の9割が経理等の経費であり、経理システムの導入を行い、効率化を図っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
			—			
点検結果	平成24年度は66件の補助金等に対する機関経理事務を行ったところである。事業費の9割が経理及び研究補助員経費であることから、システム導入等による業務の効率化、より適切な勤務時間の管理を行う事で、補助員の業務負担の軽減および雇用経費の削減を検討する。					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、国立感染症研究所における競争的研究費の経理事務に要する経費であるが、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	630	平成23年	571	平成24年	508

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.事務補助員A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	事務補助員賃金	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外部委員A	会議出席謝金	0.01	—	—
2	外部委員B	会議出席謝金	0.01	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	事務補助員A	事務補助員賃金	3.26	—	—
2	事務補助員B	事務補助員賃金	3.17	—	—
3	事務補助員C	事務補助員賃金	2.54	—	—
4	事務補助員D	事務補助員賃金	2.52	—	—
5	事務補助員E	事務補助員賃金	2.52	—	—
6	事務補助員F	事務補助員賃金	2.36	—	—
7	事務補助員G	事務補助員賃金	2.34	—	—
8	事務補助員H	事務補助員賃金	2.33	—	—
9	事務補助員I	事務補助員賃金	2.32	—	—
10	事務補助員J	事務補助員賃金	2.31	—	—